

令和6年度事業報告書

I 会務報告

1. 会員の状況について

	正会員	準会員	合計
今期末会員数	2,701人	0人	2,701人
前年度会員数	2,756人	0人	2,756人
増減	△55人	0人	△55人

支部別会員数は、添付諸表資料1のとおり

2. 賛助会員について

(1) 団体等

北海道農業共済組合	500,000円
ホクレン農業協同組合連合会	350,000円
(株)札幌夜間動物病院	200,000円
北海道農業協同組合中央会	100,000円
(一社)ジェネティクス北海道	100,000円
(株)高橋動物病院	100,000円
NPO法人ニャン友ねっとわーく・北海道	100,000円
(株)サンリツセルコバ検査センター	50,000円
(株)TYL	20,000円

(2) 個人

なし

3. 名誉会員の推薦について

令和7年3月13日開催の理事会において、各支部長から推薦のあった下記20人の会員を名誉会員にすることとし、令和7年度地区獣医師会総会において名誉会員証を授与することとした。(敬称略)

鶴林 正貴、木村 周一、中舘 正吉、千川 浩治、湯沢 睦、山際 美智弘、米川 雅一、三門 三夫(以上石狩)、菊地 義雄、高野 天津夫(以上上川)、花田 雅宏、九島 純一(以上道南)、山本 修治、有坂 孟弘、丸尾 芳彦(以上十勝)、住吉 尚(釧路)、岩瀬 賢介(根室)、吉田 治雄、佐藤 弉義、西川 治彦(以上オホーツク)

4. 役職員の異動について

(1) 役員

令和6年6月18日、第12回定時代議員会において役員が補欠選任され、同日就任した。

理事（畜産・家畜衛生） 菅野 宏

5. 日本獣医師会特別委員会委員、職域別部会委員会委員（本会分）

（1）特別委員会

AMR 対策推進検討委員会（副委員長）	田村 豊（北獣会長）
AMR 対策推進検討委員会	臼井 優（酪農大）
AMR 対策推進検討委員会	蒔田浩平（酪農大）
ワンヘルス推進検討委員会	堀内基広（北大大学院）
組織財政検討委員会	田村 豊（北獣会長）

（2）職域別部会委員会

ア. 常設委員会

学術・教育・研究委員会	片桐成二（北獣理事）
産業動物臨床・家畜共済委員会	岡本真平（NOSAI 北海道）
小動物臨床委員会	上田広之（北獣理事）
家畜衛生・公衆衛生委員会	奥村利盛→菅野宏（北獣理事）
動物福祉・愛護委員会	柴田千賀子（札幌市）
総務委員会	廣田和久（北獣理事）

イ. 個別委員会

女性獣医師活躍推進委員会	井上麻里（NOSAI 北海道）
--------------	-----------------

6. 代議員会・理事会の開催について

（1）令和6年度（第12回）定時代議員会

日 時：令和6年6月18日（火）

会 場：札幌ホテルヤマチ

議 案

議案第1号	令和5年度事業報告について（報告事項）
議案第2号	令和5年度決算について（承認事項）
議案第3号	令和6年度事業計画及び収支予算について（報告事項）
議案第4号	令和6年度賛助会費について（承認事項）
議案第5号	福利厚生規程の改正について（承認事項）
議案第6号	令和6年度役員報酬について（承認事項）
議案第7号	役員を選任について（承認事項）

（2）理事会

【第1回】

日 時：令和6年5月14日（火）

会 場：北海道獣医師会館

<報告事項>

1. 会長・専務理事の12月から4月までの職務執行報告について

2. 傷病鳥獣等保護受託業務について
3. 部会の開催と具申について
4. 各部会委員の委嘱について

<議決事項>

1. 令和5年度事業報告及び決算の承認について
2. 令和5年度決算監査結果について
3. 令和6年度賛助会員について
4. 令和6年度賛助会員会費について
5. 令和6年度役員報酬について
6. 職域（畜産・家畜衛生）理事推薦候補者の選定について
7. 令和6年度（第12回）定時代議員会の開催について
8. 代議員会における書面等による議決権の行使について
9. オホーツク支部事務局長の承認について

<協議事項>

1. 北海道歯科医師会との学術連携協定について
2. 日本獣医師会職域別部会の常設委員会委員の推薦について
3. 今後の予定について

【第2回】

日 時：令和6年6月18日（火）

会 場：札幌ホテルヤマチ

<報告事項>

1. 職務執行状況報告について
2. 職域（畜産・家畜衛生）理事候補者について
3. 傷病鳥獣・負傷動物保護に係る事業の助成額単価の改正について

<協議事項>

1. 令和6年度（第12回）定時代議員会の開催について
2. 北海道地区学会の運営について
3. 福利厚生事業における供花及び弔慰金の取り扱いについて

【第3回】

日 時：令和6年8月28日（水）

会 場：北農ビル

<報告事項>

1. 小動物臨床部会の開催報告について
2. 情報発信の取り組み経過について
3. 会館建替えに係る不動産取得税の納入について

<議決事項>

1. 北海道獣医師会部会委員の承認について
2. 共同購入印刷物（狂犬病予防注射猶予証明書）の価格改定について

3. 令和7年度大会学会の開催場所について

<協議事項>

1. 第72回大会提案事項の経過報告及び第73回大会提案事項について
2. 北海道歯科医師会との学術協力の推進に関する協定書（案）について

【第4回】

日 時：令和6年12月17日（火）

会 場：北海道獣医師会館

<報告事項>

1. 職務執行状況（11月末）報告について
2. 業務執行状況報告について
3. 中間監査の結果について
4. 北海道ワンヘルスフェア2024の開催報告について
5. NOSAI北海道員外理事の本会からの推薦について

<議決事項>

1. 狂犬病予防注射事故対策要領等の一部改定について
2. 規則の一部改正について
3. 共同購入品の価格改定について

<協議事項>

1. 北海道歯科医師会との連携シンポジウム（案）について
2. 顧問弁護士の見直しについて
3. 本会雑誌の電子化について

【第5回】

日 時：令和7年3月13日（木）

会 場：北海道獣医師会館

<報告事項>

1. 業務執行状況について
2. 北海道胆振東部地震における活動報告

<議決事項>

1. 令和7年度事業計画等について
2. 北海道獣医師会狂犬病予防注射事故対策要領の一部改正（案）について
3. 令和7年度名誉会員について
4. 北海道胆振東部地震救護活動収支残金の取扱いについて
5. 本会ホームページの全面改修に係る経費の支出について
6. 役員候補者推薦管理委員会委員の選出について

<協議事項>

1. 役員改選について

(3) 監 査

令和5年度決算監査	令和6年5月10日(金)	北海道獣医師会館
令和6年度中間監査	令和6年11月12日(火)	北海道獣医師会館

(4) 三役会議

第1回	令和6年6月17日(月)	北海道獣医師会館
第2回	令和6年8月27日(火)	北海道獣医師会館
第3回	令和6年11月22日(金)	北海道獣医師会館
第4回	令和7年2月27日(木)	北海道獣医師会館

(5) 事務局長会議

第1回	令和6年8月28日(水)	北農ビル
第2回	令和7年3月24日(月)	ウェブ開催

(6) 各部会、委員会

雑誌編集委員会	令和6年4月30日(火)	北海道獣医師会館
小動物臨床部会(第1回)	令和6年7月24日(水)	北海道獣医師会館
小動物臨床部会(第2回)	令和6年11月27日(水)	北海道獣医師会館
小動物臨床部会(第3回)	令和6年12月12日(木)	北海道獣医師会館
行政部会	令和6年9月27日(金)	ウェブ開催
野生動物部会	令和7年3月6日(木)	ウェブ開催

(7) 学会関係

獣医学術地区学会長会議	令和6年5月7日(火)	ウェブ開催
獣医学術地区学会幹事会	令和6年6月20日(木) 21日(金)	ウェブ開催

7. 弁護士との顧問契約について

札幌市内で法律事務所を開設している橋本智弁護士(事務所 Tel: 011-272-1056)と顧問契約を締結し、会員の法律的な事案に相談対応できる体制を継続している。

II 事業報告

公益目的事業1：獣医学術の振興・普及並びに人材の育成を図る事業

獣医学及び獣医療の最新の研究成果、優れた診療実績等を共有し、獣医師全体の技術向上を図り、それらの成果を社会に還元する。

1. 獣医学術北海道地区学会・北海道獣医師大会の開催

(1) 獣医学術北海道地区学会の開催

- ①令和6年度獣医学術北海道地区学会は8月29日(木)30日(金)、北海道大学において開催した。会員及び会員外478人の参加を得て、石狩支部等道央3支部や学会幹事を中心とした会員の協力により済々と運営された。
- ②発表演題は産業動物獣医学会69題、小動物獣医学会27題、獣医公衆衛生学会9題の、合計105題がエントリーされた。
- ③ランチョンセミナーは協賛会社の協力のもと、6会場で多彩な内容により実施された。
- ④各地区学会会長賞、北海道獣医師会会長賞・奨励賞については、獣医学術地区学会役員による審査会において慎重に審議され、次のとおり選定された。

【令和6年度北海道地区学会優秀発表演題と発表者】

1. 日本産業動物獣医学会（北海道）

【北海道地区学会会長賞】

- サルモネラ検査における検体の保存環境の検討
○原 希和子1) 酒詰史子2) 藤原正俊3)
1) 釧路家保 2) 元・釧路家保 3) 岩手大学共同獣医学科
- 横断的鼻咽頭スワブ検査に基づいたガミスロマイシン予防的投与による子牛の呼吸器病予防効果の検証
○山下祐輔 足立圭輔
NOSAI 北海道名寄家畜診療所
- 牛の先天性屈筋腱拘縮に対する蹄エクステンション装着による治療効果の検討
○後藤忠広1) 上野大作1) 小倉大樹1) 秋吉珠早1) 高垣勝仁2)
伊藤純一1)
1) NOSAI 北海道研修所 2) NOSAI 北海道十勝南部家畜診療所
- 第一指／趾骨の短い不完全矢状骨折16症例に関する回顧的調査
○多田健一郎 日高修平 重政映未 安藤邦英
軽種馬育成調教センター (BTC)

【北海道獣医師会会長賞】

- 嫌気培養法による乳房炎原因菌検出の試み
○西 航司1,2) 今泉法子2) 江口亜矢子2) 権平 智2) 樋口豪紀2)
1) NOSAI 北海道紋別家畜診療所 2) 酪農大予防獣医学
- 遠位肢骨折に対する内固定手術を実施した馬における術前CT検査の有用性

○山家崇史 1) 加藤史樹 1) 鈴木 吏 1) 田上正幸 1) 宮下恵里 1) 北内 諒 1) 坂本有弥 1) 田上正明 1, 2)

1) 社台ホースクリニック 2) 帯畜大臨床獣医学

【奨励賞】

- 子牛における地方病性牛伝染性リンパ腫発症は母牛由来の腫瘍細胞が原因か？
○廣瀬海風 今内 覚 岡川朋弘 富永みその 松原幸芽 前川直也 村田史郎 大橋和彦
北大感染症学
- 回虫による腸閉塞に対して開腹手術を実施した日本輓系種 1 歳馬の 1 症例
○植村果穂 1) 田上正明 1, 2) 南保泰雄 1) 藏本 忠 1) 望月奈那子 1) 吉田 桜 1) 植田咲喜 1) 小代智貴 1) 武山暁子 1)
1) 帯畜大臨床獣医学 2) 社台ホースクリニック

2. 日本小動物獣医学会 (北海道)

【北海道地区学会賞】

- 意識障害は起源不明髄膜脳脊髄炎(MUO)の予後不良に関連する：MUO 82 例の回顧的検討(2014-2022)
○笹岡一慶 1) 福家知樹 2) 須永隆文 3) 大田寛 4) 滝口満喜 5)
1) 北大附属動物病院 2) 北大先端獣医療 3) 北大獣医外科 4) 酪農大伴侶動物内科学 5) 北大獣医内科

【北海道獣医師会賞】

- **Microvascular imaging** で尿管開口部における尿ジェット噴流が尿生成評価に有用であった猫の 2 例
○原田大輝 1) 田村昌大 2) 大楠大介 2) 山本理幾 2) 酒井俊和 1) 赤羽根僚太 1) 出口辰弥 1) 山崎裕毅 1) 大田 寛 1)
1) 酪農大伴侶動物医療学 2) 酪農大附属動物医療センター
- 気管支拡張症の原因として気管支軟骨の低形成が疑われた 2 頭のアメリカン・コッカー・スパニエル
○川上侑記 1) 中村健介 1) 菅原芽伊 2) 新坊弦也 2) 山根由久 2) 細谷謙次 3) 岡田一喜 4) 賀川由美子 4) 滝口満喜 1)
1) 北大獣医内科学 2) 北大附属動物病院 3) 北大先端獣医療学 4) ノースラボ

【奨励賞】

- 猫の食道運動性に関する基礎的検討：フードの形状による影響
○藤浦凌子 山本集士 酒井俊和 鳥巢至道
酪農大伴侶動物医療学
- 部分肺静脈還流異常により右心拡大を呈した犬の 1 例
○安田理紗 1) 中村健介 1) 新坊弦也 2) 横山 望 1) 滝口満喜 1)
1) 北大獣医内科学 2) 北大附属動物病院

3. 日本獣医公衆衛生学会（北海道）

【北海道地区学会賞】

- 豚の筋脂肪症におけると畜検査に有用な好発部位の調査とその原因としての筋ジストロフィーの可能性の検討
○新居剛 1) 荒井千種 2) 木村香澄 1) 岡田聖恵 1) 相原尚之 3) 志賀崇徳 3) 神谷有美子 3)
1) 東藻琴食肉衛生検査所 2) 網走保健所 3) 麻布大学

【北海道獣医師会賞】

- 食鳥検査で確認された多発性白色結節の原因等調査
○石井 紀 1) 石田祥士 1) 神谷可菜 1) 齋藤麻矢 1) 竹田祥子 1) 保科 博 2) 大野祐太 3) 川崎武志 4)
1) 早来食肉衛検 2) 岩見沢食肉衛検 3) 道衛研 4) 人と鳥の健康研究所

【奨励賞】

- ナノポアシーケンスによるフルオロキノロン耐性 *Mycoplasma bovis* の迅速検出法の開発
○北條 裕 1) 福田 昭 1) 蛭沢雅司 2) 岩野直美 2) 臼井 優 1)
1) 酪農大予防獣医学 2) NDTS

(2) 第73回北海道獣医師大会の開催

- ①第73回北海道獣医師大会は8月29日（木）京王プラザホテル札幌を会場に、日本獣医師会砂原副会長・栗本副会長および多数の来賓を迎え盛会裏に開催した。
- ②大会では、本部提案として、
「人獣共通感染症の予防を推進しよう ～One Health に基づき関係機関と連携を図る～」の提案を満場一致で決議した。
- ③大会に引き続き、前年度地区学会等優秀発表表彰、北獣会誌投稿優秀論文表彰、狂犬病予防事業顕彰を行った。

狂犬病予防事業顕彰者は次のとおり。

狂犬病予防事業顕彰者

天内 秀樹（石狩支部） 大西 信也（石狩支部） 鈴木 満（石狩支部）
高田 正弘（空知支部） 柴田 行雄（上川支部） 杉崎 義一（十勝支部）
伊勢 佳訓（釧路支部）

2. 北海道獣医師会雑誌の発行について

獣医学術の振興・普及並びに諸行事の案内、活動報告等の情報提供の媒体として北海道獣医師会雑誌（北獣会誌）を毎月定期に発刊した。（第68巻第4号～12号及び第69巻第1号～第3号）また、会誌編集委員会において、前年度本会誌に掲載した学術論文から優秀なものとして次の3編を選定し、第73回北海道獣医師大会において顕彰

した。

令和5年度北海道獣医師会雑誌優秀論文表彰

<産業動物獣医学部門>

- 初乳生産量の抑制による牛の周産期疾病対策の検討
横井允雄、渡邊誠治、清水明
よつ葉乳業株式会社

<小動物獣医学部門>

- 骨プレートにより整復を行ったヨツユビハリネズミの漏斗胸の1例
大橋銀河、松井李穂、大橋英二
あかしや動物病院

<獣医公衆衛生学部門>

- と畜検査申請時の投薬歴未申告事例に対する取り組み
野口りか 1) 脇淵稔洋 2) 吉岡えりな 3) 鈴木竹彦 1)
1) 北海道帯広食肉衛生検査所 2) 北海道日高食肉衛生検査所
3) 北海道富良野食肉衛生検査所

3. 国際交流について

本会は相互の獣医学術の向上と交流を深め、互いに発展することを目的として、韓国の慶尚北道獣医師会と姉妹提携を結んでいる。現在、海外悪性伝染病である口蹄疫、アフリカ豚熱およびランピースキン病の発生もあり招聘を延期している。

4. 技術向上に係る講習会、研修会の開催について

本部主催の講習会と野生鳥獣救護技術講習会は中止した。支部主催により、産業動物・小動物・食検・新技術講習会を実施した。また、地区獣医師会や関係団体の主催する講習会、研修会等に後援・協賛し支援した。

開催状況は添付諸表資料3のとおり

公益目的事業2：人と動物が共生する豊かで健全な社会の発展に貢献する事業

人と動物の共通感染症の予防等、公衆衛生や家畜の伝染病予防等の家畜衛生に関する事業並びに動物の愛護・福祉の増進・野生動物の保護に関する事業を推進し、人と動物が共生する豊かで健全な社会の発展に貢献する。

1. 狂犬病予防注射事業の推進について

- (1) 狂犬病予防注射事業は本会の主体となる公益目的事業として、各支部実施班の協力のもとで実施した。その注射頭数は152,742頭（前年比1,474頭増）で、僅かに増加した。支部別注射頭数は添付諸表資料5のとおり

狂犬病予防注射実施率向上対策の一環として、北海道・札幌市・動物愛護団体等と連携し、札幌地下歩行空間で狂犬病予防注射啓発イベントを開催した。

- (2) 狂犬病予防注射事業に係る事故について、ワクチンによる副反応事故についても、

狂犬病予防注射事故対策要領に沿って補償することとしている。令和6年度は犬の事故は死亡4頭・回復23頭の報告があった。また、令和6年度に小動物臨床部会において注射事故対策要領の改正に向けて協議がなされ、理事会において狂犬病予防注射事故対策要領の一部改正および事故時の対処法を全面改正した。令和7年度より行政と更なる連携を取り、狂犬病予防注射事業を進めることとした。

2. 動物愛護の推進について

- (1) 北海道から委託を受け実施している野生傷病鳥獣保護業務について、会員動物病院等の協力を得て28病院、96頭羽（前年比19頭羽減）の傷病鳥獣の診療、救護費用を補填した。
- (2) 同じく北海道から委託を受け実施している所有者の判明しない犬猫等の診療、保護委託業務では43病院、243頭（前年比35頭減）の保護・診療費用の一部を補填した。
札幌市、函館市、旭川市においても、それぞれの市からの受託により同事業を実施し、札幌市4病院11頭、旭川市2病院35頭、函館市2病院31頭の保護治療を行った。

3. 公開講座等の開催について

- (1) 北海道医師会との学術連携シンポジウム
高病原性鳥インフルエンザをはじめ多くの人と動物の共通感染症の流行制御への関心や食品の安全性確保に関する意識が高まる中、医師と獣医師が緊密に連携し、安全で安心な社会を構築することが求められている。
このような状況を受け、学術協力を推進する旨の協定書締結に基づき、4月14日（日）、「エゾウイルス感染症－北海道で発見された新規のダニ媒介性感染症－」をテーマに、医師、獣医師を中心に250名の参加を得て連携シンポジウムを開催した。
- (2) 野生動物部会の協力を得て、野生傷病鳥獣の診療技術向上のため技術講習会を札幌市（円山動物園）、釧路市において例年開催しているが本年度は中止した。

収益事業1：不動産賃貸事業

1. 所有建物の貸付け

北海道獣医師会館に入居しているさっぽろ獣医師会、札幌市小動物獣医師会、日本馬事協会北海道事務所および札幌夜間動物病院に引き続き貸付けをするとともに、会議室は各種会議等に貸付けを行った。

収益事業2：共同購入事業

会員が業務上必要とする各種様式印刷物や診断薬を一括購入し、添付諸表資料6のとおり斡旋販売した。

その他事業1： 福利厚生事業

「福利厚生規程」に基づき、病気見舞金、弔慰金及び生花をそれぞれ添付諸表資料7のとおり贈呈した。

その他事業2： 受託事業

1. 狂犬病予防注射済票交付事業

道内173市町村からの委託を受け、狂犬病予防注射に従事する会員が、市町村に代わり、狂犬病予防注射を受けた犬の飼養者に対し、狂犬病予防注射済票の交付を行った。

飼養者が居住していない市町村で狂犬病予防注射を受けた場合、注射実施者、責任者や各支部事務局の協力により、狂犬病予防注射済証を当該自治体に送付する事業を実施した。

2. 犬の登録及び鑑札及び交付事業

道内5市からの委託を受け、狂犬病予防注射に従事する会員が、狂犬病予防注射実施時に犬飼養者の便宜のため犬の登録受付及び鑑札の交付を行った。

3. 動物愛護週間における啓発活動

札幌市小動物獣医師会の主催する動物愛護事業に協賛した。これ以外の道南および胆振獣医師会による動物愛護事業等の行事、日本獣医師会が主催する動物感謝デー in Japan “World Veterinary Day” に協賛した。

4. 海鳥等保護対策事業

天売島の海鳥保護のため、羽幌町等からの委託を受け、不妊去勢手術、馴化、譲渡等で野良猫を減少させる事業を実施し、環境省・道庁・羽幌町・本会・北海DOぶつネット等による「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会が関係機関とともに活動していたが、本年度は事業の確認に留まった。

【会務運営報告】

(1) 組織基盤強化

道内13支部、職域及び専門部会と連携し、会員加入拡大・維持を組織基盤の原点として鋭意努めてきた。女性獣医師の役員登用も検討中であり、女性獣医師が活躍できる環境を継続検討していく。

(2) 北海道獣医師会の財政基盤強化

令和5年10月末に会館が竣工した以降、多数の会員から会館建替え特定寄附を受けている。会館入居団体の賃貸収入を財源として借入金の償還をすすめる。

また、特定寄附については継続して募集する。

(3) 女性獣医師の就業環境の整備と就業促進

女性獣医師が半数を占める状況の中、復職を支援するリカレント教育を検討中で

あり、部会等に諮問しながら、公務員獣医師及び産業動物臨床獣医師が活躍できるよう事業を進めていく。

(4) 産業動物及び公務員獣医師の確保

北海道の基幹産業である酪農・畜産業界や食の安全確保を推進するよう処遇改善を議会等に求めた。引続き、関係機関等と獣医師確保対策を講じていく。

(5) 北海道動物愛護センターとの連携

北海道動物愛護センター（愛称「あいにくた」）と連携し、動物愛護・福祉の増進に協力し、獣医学的観点から参考になる意見や希望を提案した。

(6) 広報活動の推進

北海道獣医師会ホームページを通して獣医師会活動を広く一般に知らせるとともに、あらたにホームページを刷新しながらSNSを利用した会員への有益な情報発信の方法を具体的に検討した。

(7) 獣医師倫理の高揚

獣医師は社会的にも様々な活躍が期待されており、かつ、責任もあることから、北海道獣医師会倫理規程を遵守するよう大会および雑誌等で理解を求めた。

(8) 動物医療現場におけるインフォームドコンセントの徹底

臨床分野では高度医療機器の導入により、より専門性の高い高度医療が実施されてきていることから、動物医療現場におけるインフォームドコンセントを徹底するよう理解を求めた。